



欧州統合の象徴「ユーロ」のモニュメント  
(欧州中央銀行があるドイツ・フランクフルト)

## 平和への願いが込められた 欧州統合

欧州で暮らす人々の生活に、欧州統合は深く関わっています。日々の生活では、欧州の共通通貨「ユーロ」が使われています。1999年にEU加盟国のうち11カ国でユーロが導入されて以降、ユーロ圏は20カ国にまで拡大しています。欧州で暮らす人々は、この20カ国で、為替レートを気にすることなく、20カ国の力を結集することで価値が安定したユーロを自由に使うことができます。

そして、私が住むドイツでは、隣の国との「国境がない」ことが実感できます（実際にはあります）。例えば、フランス・アルザス地方の中心都市ストラスブールに向かう国境では、両国をつなぐ橋があるだけで、「ここからフランス」とか「フランスへようこそ」のような標識はありません。人々は自由に往来をしています。散歩をする人もいれば、サイクリングを楽しむ人もいます。路面電車も走っています。

このように、欧州統合によって、欧州の人々の暮

らしは、とても便利になっています。その一方で、欧州統合に反対する意見や、移民対策のために国境管理を厳しくすべきといった意見もあります。ギリシャ危機やイギリスのEU脱退という大きな出来事もありました。幾多の困難に直面しながらも、欧州は国民の総意として、統合を進めるために合意と協力を積み重ねてきました。その理由について、欧州の多くの方は「その根底には平和への願いが込められている」と言います。

第2次世界大戦の終結まで、欧州の歴史は、戦争が中心でした。そのような欧州の市民同士の殺し合いは、もう二度と、絶対に起こしたくない、という切なる願いが、欧州統合を支えているのだそうです。欧州で暮らす一員として、私自身もその平和への願いを共有していきたいと思います。

(日本銀行フランクフルト事務所)

\*本コーナーは海外で働く日本銀行職員または日本銀行からの出向者が執筆しています。



上／EUの政治の中心、欧州議会本部。EU各国とウクライナの国旗がはためいています  
(フランス・ストラスブール)

左／ドイツとフランスの国境（ライン川にかかる橋）